

# ハクビシンの特徴と対策

編集：京都府農林水産技術センター農林センター  
発行：平成23年(2011年)3月



歩行跡  
直線の左  
右につく



**原産地：** 南方系の動物（もともと日本にはいなかったと考えられているが、明治以前から存在が確認されている。）  
**出 産：** 決まった繁殖期は無く、一年を通して繁殖が可能（1年に複数回出産するわけではない）  
**行 動：** 水路や側溝等、水際周辺を通路にすることが多い。  
夜行性  
垂直方向へジャンプした場合、115cm程度まで前足が届く。  
1mm以下の針金の上を歩くことができる。（思わぬ所から侵入する）  
垂直に垂らした針金も登ることができる。  
足がひっかかるものなら何でも登る（角から登ることが多い）。  
**食べ物：** 雑食性（果樹、野菜、昆虫、水生生物、鳥類 など）  
**被 害：** 農畜水産物被害（果樹、野菜類、養鶏、養魚 など）  
生活環境被害（家屋侵入・損傷、寺社・仏閣侵入・損傷）

## ◆見分けるポイント（生息していることを前提に、早期発見、早期対策）

- ◆寺社、空き屋を定期的に見回り、痕跡（侵入痕跡、足跡、糞）の有無を確認
- ◆水路付近で痕跡（足跡等）の有無を確認
- ◆農作物の被害痕跡、侵入痕跡を確認

	ヒゲ	眉間	尾	足跡
アライグマ	白い	黒い線	縞模様で長い	長い指跡 5本 爪跡も残る 
ハクビシン	白い	白い線	黒く細長い	指跡 5本 
アナグマ	白い	淡く白い線	太く短い	指跡 5本 爪跡が長い 
タヌキ	黒い	なし	太く短い	指跡 4本 爪跡は短い 



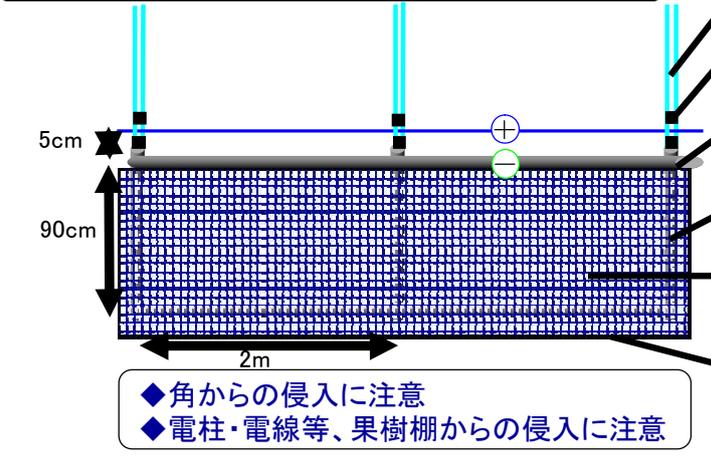
## ◆ハクビシンを寄せない集落環境管理

- 集落**
- ◆**家庭ゴミ**  
→ 決められた日・時間に出し、長時間放置しない
  - ◆**生ゴミ**  
→ コンポストに入れる、埋設、焼却
  - ◆**庭先、農地周辺の柿**  
→ 低樹高に仕立てなおして、網をかぶせる  
利用しない場合は、早期摘果、伐採
  - ◆**墓地のお供え物、供花**  
→ その場で食べる、持ち帰る

## ◆ハクビシンを寄せない農地管理

- 農地**
- ◆**作物を食べさせない**  
→ 防除柵でしっかりと防除する
  - ◆**収穫予定の無い果樹や栗**  
→ 早期摘果、伐採できる場合は伐採
  - ◆**廃棄した作物や果樹**  
→ 防除柵内に廃棄、すき込み、埋設、焼却

## ◆ハクビシン対策の防除柵



- ダンポール(2本)
- 電気柵の柵線 (ビニルテープで固定)
- 横の単管パイプは、支柱の外側に固定
- 骨格:単管パイプ (ハウスの廃材 など)
- 防風ネット(4mm目以下)や、亀甲金網(格子3cm以下)
- 15cm程度地面に埋め込む (タヌキ、アナグマがいる地域は、30cm程度埋め込む)

## ◆捕獲についての注意

野生鳥獣は、許可無く捕獲することは法律で禁止されています(狩猟期間中の狩猟者を除く)。被害が発生した場合等は、お住まいの市町村にご相談下さい。

特に、アライグマとハクビシンでは、捕獲許可方法、捕獲後の処理方法が異なる場合があります。錯誤捕獲を防止するため、痕跡をしっかり観察し、お住まいの市町村にご相談下さい。